

コロナ渦に伴い、発信力が一層クローズアップされています。

これまで以上に、リーダーの発する言葉が注目を浴びることとなりました。

私も、さまざまな場で挨拶を述べさせていただくことがあるのですが、なかなかうまく話せないものだと感じる事が多くあります。

「どうしたら、相手の心に響く話ができるのか？」

悩ましいところです。そこでネットで調べてみたところ、聞き手の心を引き付ける6つのポイントがヒットしました。

- ① 声は相手に届かせるもの
- ② あえて曖昧な表現を
- ③ 聞き手に考えさせる
- ④ 自分がゆっくりと思う以上にゆっくり話す
- ⑤ 「間があるから何か話さなきゃ」は間違い
- ⑥ 話をするときこそ聞き手の気持ちになる

なるほどと頷いています。特に、⑥については、大切にしたいと思っています。

できる限り相手の気持ちを考えて話せる「聞き手に優しい話し手」をあることを心がけるとともに、自らの気持ちを素直に、時には感情をあらわにするなどしながら、心を響かせられる話し手でありたい。

ドイツのメルケル首相のスピーチのように。